



発見 しょうばら

庄原市には、西日本一の自生地と言われる「節分草」をはじめ、数多くの山野草が咲きます。貴重な山野草は地域で保護され、多くの観光客を楽しませてくれます。今月は市内に咲く山野草の一部を紹介します。

商工観光課観光交流係 ☎0824-73-1178

節分草(セツブンソウ)

春を告げる花「節分草」。旧暦でいう節分の時期に咲くことからその名のついた節分草が、早い春の訪れを告げに2月中旬から3月中旬にかけて総領地域内で咲きます。

この時期には、西日本一とも言われる自生地のうち7カ所が公開され、初春の風物詩を見ようと、多くの観光客が訪れます。道の駅リストアステーションには、総合案内所を開設し、ボランティアガイド「花守り(はなもり)」の案内により、誰でも気軽に春の訪れを感じることができます。

公開期間中のイベントは、土・日曜日に、地元の味が楽しめるバザーをはじめ、絵手紙、寄せ植えなどの講座のほか、山野草写真・絵手紙コンテスト作品募集が行われます。また、期間中の日曜日には、節分草の限定販売も行い、3月11日(日)は節分草祭として節分草教室や俳句会など各種イベントが開催されます。

■節分草祭に関するお問い合わせは
里山を楽しむ町イベント実行委員会事務局(総領支所地域振興課内)☎0824-88-3060まで。



公開期間 2月17日(土)～3月18日(日)

節分草祭 3月11日(日) 10時～14時

ところ 道の駅リストアステーション
および総領地域内自生地



福寿草(フクジュソウ)

東城地域の南部、帝釈峡は石灰岩地帯で、遅い春の訪れを告げる福寿草が黄色い花を咲かせます。福寿草は幸せを招く縁起の良い花といわれています。山野草マニアの乱採集で、今では数カ所ほどとなった自生地ですが、3月中旬には春のやわらかな日差しを受けて、花びらを金色に輝かせます。

期間 3月上旬～3月下旬

ところ 帝釈峡付近



さくらそう

クロカンパークのさくらそうは濃い桜色。高原の低湿地に自生する桜に似た花を咲かせる、日本独自の美しい山野草です。その種類は200から300種類と言われ、古来からの自生品種は15種類くらいありますが、ほとんどが東北地方以北か高山帯に自生しています。

期間 5月中旬から5月下旬

ところ 道後山高原クロカンパーク



すずらん

(別名:君影草(キミカゲソウ))

クロカンパークの自生すずらんは、西日本有数の群生地。花の可憐さと甘い香りは、人々の心をなごませてくれます。風通しのよい半日陰で、適当に乾燥した土壌では、横走する地下茎を網目のように張りめぐらせ増殖します。

期間 5月下旬から6月上旬

ところ 道後山高原クロカンパーク



ヒゴタイ

絶滅危惧種に指定されている「ヒゴタイ」。数十年前までは、日当たりのよい草地に点々と咲き盆花に使用されていました。比和の三河内には自生地があり、三河内地域振興会の「ヒゴタイの会」では、慶雲寺(けいいうんじ)の休耕田を整備し、自生地に近い環境で増殖させ、「ヒゴタイ」の保全に取り組んでいます。また、今後ヒゴタイの種まきや草刈り、特産のそば・山菜料理を味わう交流イベントも計画されています。

期間 7月下旬～9月上旬

ところ 比和町三河内